

# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社銀座山形屋  
 コード番号 8215 URL <http://www.ginyama.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山形 政弘  
 (氏名) 渡邊 光潤

TEL 03-6680-8711

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,345	0.2	125	△8.4	157	△9.9	124	△18.9
28年3月期第1四半期	1,342	9.4	137	41.4	174	21.5	153	16.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △16百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 168百万円 (63.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	7.20	—
28年3月期第1四半期	8.87	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年3月期第1四半期	4,717	—	2,970	—	63.0	172.11
28年3月期	4,824	—	3,072	—	63.7	178.07

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 2,970百万円 28年3月期 3,072百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,340	2.7	△23	—	△27	—	△37	—	△2.14
通期	5,300	3.2	270	16.9	300	3.4	245	△23.2	14.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	18,044,715 株	28年3月期	18,044,715 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	787,311 株	28年3月期	787,163 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	17,257,366 株	28年3月期1Q	17,260,129 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策等により、一部企業の収益拡大や雇用情勢の改善等、緩やかな回復基調が続いております。一方で中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題による不安定な為替・株安などの影響等により、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下で当社グループは「着心地と品質」を柱に「世界一のオーダーメイド企業をつくる」を“ぶれることなく”継続して磨きつづけることに取り組んでまいりました。経営成績につきましては、売上高は小売事業のオーダーメイド販売が比較的順調に推移したことから1,345百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。利益面については卸売事業において、催事が翌四半期以降にずれこんだことによる受注数量減少により、受託縫製事業における生産体制のアンバランスな状態が続き、売上総利益が前年を下回ることになり、営業利益125百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。また、受取配当金24百万円の計上等により経常利益157百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。法人税等32百万円の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益124百万円（前年同四半期比18.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

小売事業が売上高646百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益92百万円（前年同四半期比15.1%増）、卸売事業が売上高394百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益18百万円（前年同四半期比40.5%減）、受託縫製事業が売上高774百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益26百万円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して107百万円減少し4,717百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度と比較して75百万円増加しました。主な要因は、季節要因による売掛金等の営業債権の回収に伴う現金預金の増加によるものであります。

固定資産は前連結会計年度と比較して183百万円減少しました。これは主に一部の投資有価証券の時価の下落に伴う評価差額金を計上したことによる減少189百万円があった事によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して5百万円減少し1,746百万円となりました

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益124百万円の計上をした一方で、期末配当金の支払い86百万円があったことにより当第1四半期連結会計期間末の株主資本は、前連結会計年度と比較して37百万円の増加となりました。また、その他有価証券評価差額金は140百万円の減少でありました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期までの業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,194,464	1,343,741
受取手形及び売掛金	558,227	478,530
商品及び製品	160,930	155,774
仕掛品	24,964	20,958
原材料	117,569	138,768
繰延税金資産	67,127	57,748
その他	66,604	70,229
貸倒引当金	△842	△810
流動資産合計	2,189,044	2,264,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	123,851	123,564
その他（純額）	368,246	385,399
有形固定資産合計	492,098	508,963
無形固定資産		
その他	3,726	3,667
無形固定資産合計	3,726	3,667
投資その他の資産		
投資有価証券	1,240,788	1,050,962
敷金及び保証金	767,354	764,864
繰延税金資産	10,306	2,088
その他	132,196	132,757
貸倒引当金	△11,221	△11,131
投資その他の資産合計	2,139,423	1,939,540
固定資産合計	2,635,248	2,452,171
資産合計	4,824,293	4,717,113
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	200,030	237,445
未払法人税等	41,257	22,616
ポイント引当金	46,194	43,497
その他	425,598	474,441
流動負債合計	713,081	778,000
固定負債		
役員退職慰労引当金	89,479	90,968
退職給付に係る負債	596,396	583,072
資産除去債務	191,248	191,305
その他	161,093	103,643
固定負債合計	1,038,217	968,989
負債合計	1,751,299	1,746,989

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	358,805	396,742
自己株式	△80,462	△80,490
株主資本合計	3,005,904	3,043,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,089	△73,688
その他の包括利益累計額合計	67,089	△73,688
純資産合計	3,072,994	2,970,123
負債純資産合計	4,824,293	4,717,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,342,376	1,345,420
売上原価	593,084	606,849
売上総利益	749,292	738,570
販売費及び一般管理費	612,285	613,036
営業利益	137,006	125,534
営業外収益		
受取利息	96	106
受取配当金	23,150	24,094
助成金収入	8,236	2,149
受取手数料	4,244	4,600
雑収入	1,868	840
営業外収益合計	37,596	31,791
営業外費用		
支払利息	156	114
雑損失	60	16
営業外費用合計	216	131
経常利益	174,386	157,194
税金等調整前四半期純利益	174,386	157,194
法人税、住民税及び事業税	21,347	21,901
法人税等調整額	△72	11,068
法人税等合計	21,275	32,969
四半期純利益	153,111	124,224
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,111	124,224

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	153,111	124,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,405	△140,778
その他の包括利益合計	15,405	△140,778
四半期包括利益	168,517	△16,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,517	△16,554

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	624,192	430,657	284,854	1,339,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	482,205	482,205
計	624,192	430,657	767,060	1,821,910
セグメント利益	80,209	30,958	42,824	153,992

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	153,992
棚卸資産の調整額	741
その他の調整額	△1,656
全社収益(注1.)	60,806
全社費用(注2.)	△76,877
四半期連結損益計算書の営業利益	137,006

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	646,743	394,377	301,714	1,342,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	472,486	472,486
計	646,743	394,377	774,200	1,815,322
セグメント利益	92,316	18,433	26,898	137,648

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	137,648
棚卸資産の調整額	1,410
その他の調整額	△1,301
全社収益(注1.)	69,023
全社費用(注2.)	△81,246
四半期連結損益計算書の営業利益	125,534

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。